

## 気候情報

# 2004年5月の日本の天候

高温（全国）、多雨（太平洋側の一部と南西諸島を除く全国）、寡照（南西諸島を除く全国）

### 5月の天気概況

低気圧は日本付近を通過することが多く、前線の活動も活発であったため、曇りや雨の日が多かった。また、太平洋高気圧の日本付近への張り出しが平年より強かったことや、低気圧、前線の吹き込む南風の影響により、全国的に高温となった。

下旬の終わり頃には一時南下していた前線が再び北上し、西日本の一部で平年に比べ早い梅雨入りとなった。南西諸島は上旬から中旬前半にかけ梅雨入りしたが、全般に低気圧や前線が不活発で少雨の状況が続いた。

上旬：天気は周期的に変わった。3～4日は日本海を通過した低気圧や寒冷前線の影響で、北日本から西日本にかけてまとまった雨となった。9～10日は日本海を通過した低気圧の影響で雨となった。南西諸島は中頃から前線の影響を受けたが、降水量は少なかった。旬平均気温は、北・東日本で平年並のほかは、高かった。旬降水量は、北・東日本太平洋側で平年並で、南西諸島は少なかった。そのほかは、多かった。旬日照時間は、北日本日本海側で多く、北日本太平洋側で平年並のほかは、少なかった。

中旬：低気圧や前線の影響で、全国で曇りや雨の日が多く、13日と15～16日は東・西日本でまとまった雨となった。19～20日は台風第2号の影響で、前線の活動が活発になり、東・西日本でまとまった雨となった。南西諸島では前半は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、後半は梅雨前線や台風第2号の影響で、天気はぐずついた。旬平均気温は、全国で高かった。旬降水量は、北日本太平洋側で平年並のほかは、多かった。旬日照時間は、南西諸島で平年並のほかは、少なかった。

下旬：北・東日本では、21日は台風第2号の影響で、22～24日は寒気を伴った低気圧の影響で、雨が降った。旬の中頃は高気圧に覆われ晴れたが、終わりは低気圧や前線の影響で雨が降った。西日本は移動性高気圧に覆われて晴れたが、旬の終わりは、低気圧や前線の影響で雨が降った。南西諸島では、梅雨前線の影響で曇りや雨の日があったが、高気圧に覆われ晴れる日が多かった。旬平均気温は、全国で高かった。旬降水量は、西日本太平洋側、南西諸島で少なかったほかは、多かった。旬日照時間は、北日本、東日本日本海側で少なく、西日本太平洋側と南西諸島で多かった。ほかは、平年並だった。

### 5月の気候統計

平均気温：ほぼ全国的に平年を上回った。北海道や、東・西日本の一部では、平年を2℃以上上回ったところがあり、羽幌（北海道）、米子（鳥取県）、大分（大分県）では5月の月平均気温の最高値を更新し、留萌（北海道）、舞鶴（京都府）ではタイ記録となった。

降水量：太平洋側の一部と南西諸島で平年を下回ったが、そのほかの地域では平年を上回った。特に北日本から西日本にかけての日本海側を中心に、平年の170%以上となったところが多く、広島（広島県）をはじめ、東北から中国地方にかけての15地点で5月の月降水量の最大値を更新した。

日照時間：北海道の一部や南西諸島を除いて、平年を下回ったところが多かった。北日本から西日本にかけては平年の80%以下となったところが多く、大船渡（岩手県）、新庄（山形県）、新潟（新潟県）、輪島（石川県）では5月の月間日照時間の最小値を更新した。  
(気象庁観測部統計室)

### 5月の記録（1位更新のみ）

#### ・月平均気温の高い方から（℃）

羽幌 12.5 米子 19.4 大分 20.3

留萌 12.3（タイ記録） 舞鶴 18.9（タイ記録）

#### ・月降水量の多い方から（mm）

酒田 281.5 若松 154.5 富山 313.5

金沢 322.5 福井 340.0 松江 299.0

広島 417.5 など、計15地点

#### ・月間日照時間の多い方から（時間）

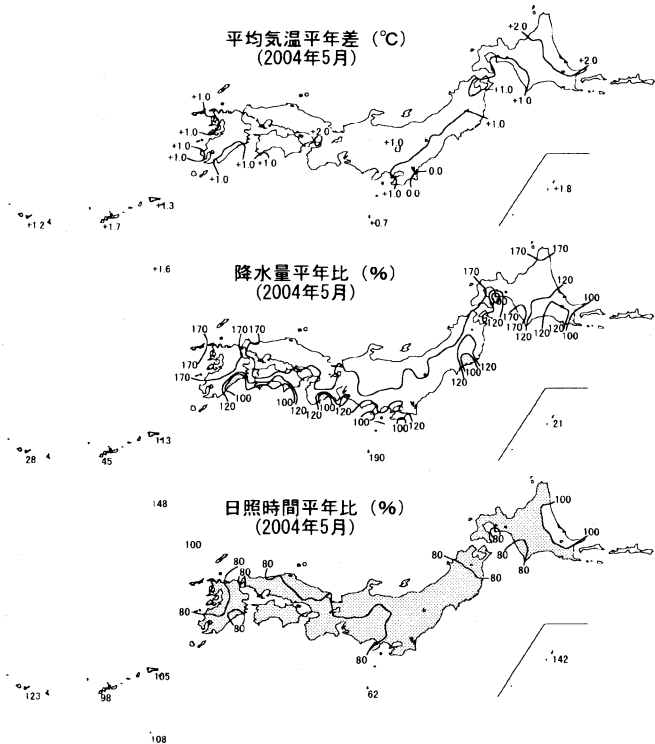
父島 233.9

#### ・月間日照時間の少ない方から（時間）

大船渡 132.1 新庄 132.6 新潟 146.6

輪島 154.8

### 2004年5月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す